

平成 14 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 小田急不動産株式会社
代表者名 取締役社長 遠山 一徳
(コード番号 8832 東証・大証第1部)
問合せ先 経理部長 市川 文男
(TEL 03-3370-1110)
当社の親会社 小田急電鉄株式会社
代表者名 取締役社長 北中 誠
(コード番号 9007 東証第1部)

中間業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年5月21日の決算発表時に公表した平成15年3月期中間期(平成14年4月1日～平成14年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 15 年 3 月期中間業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 14 年 5 月 21 日発表)	15,100	400	200
今 回 修 正 予 想(B)	12,480	360	360
増 減 額(B-A)	2,620	40	160
増 減 率(%)	17.4	10.0	80.0
前期(平成 14 年 3 月期中間期)実績	13,643	613	280

2. 平成 15 年 3 月期中間連結業績予想数値の修正(平成 14 年 4 月 1 日～平成 14 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中 間 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A) (平成 14 年 5 月 21 日発表)	16,000	300	150
今 回 修 正 予 想(B)	14,000	210	310
増 減 額(B-A)	2,000	90	160
増 減 率(%)	12.5	30.0	106.7
前期(平成 14 年 3 月期中間期)実績	15,442	505	226

3. 修正の理由

昨今の景気低迷の影響により、不動産販売業において、郊外型物件の販売開始から終了するまでが長期化し、中間期の計上見込分が下期へずれ込んだことなどから、売上高は前回予想を下回る見込みとなりましたが、全事業でコスト削減に努めたこと等により、経常利益は落ち込みを最小限に抑えることができました。中間純利益については、有価証券の売却等による特別利益の計上によって、好転する見込みであります。

一方、中間期における連結業績修正は、連結財務諸表提出会社（当社）の平成 15 年 3 月期の中間業績予想の修正に伴うものであります。

なお、通期業績予想につきましては、中間決算発表時(11月20日)に発表いたします。

以 上